

JASSO海外留学支援制度（協定派遣） について

※以下は、2025年4月1日時点の情報です。今後、変更となる可能性があります。

本学は、2025年度JASSO奨学金（海外留学支援制度（協定派遣））（給付型奨学金、返還義務なし）に採択されました。
本制度は、宇都宮大学が実施する交換留学派遣プログラムに参加する学生に対し、
JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）が留学にかかる費用の一部を奨学金として支援するものです。
※参考：JASSOウェブサイト（海外留学支援制度（協定派遣））
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html

以下、概要を簡単にまとめます。
採択プログラムの詳細は、Sheet「プログラム対象国一覧」・「プログラム詳細」をご参照ください。

▶奨学金内容

全員：

○月額奨学金8万円～11万円（派遣先国・地域により金額が決定される）

条件を満たす者のみ：

○渡航支援金16万円（一定の家計基準を満たす者）
1万円（一定の派遣期間を満たす者）
※JASSO奨学金学内選考終了後、渡航支援金対象者には担当者より詳細をお知らせいたします。

▶応募条件

①家計要件

- ・JASSOが実施する第二種奨学金在学採用の家計基準を超えない者
※ただし、上記基準を超える場合も推薦可能枠に余裕がある場合には受給とすることがあります。
- ・JASSO奨学金学内選考応募時、家計基準の判定のため市区町村役場発行の〔所得・課税（非課税）証明書（写し可）〕を提出いただきます。（源泉徴収票では判定不可）
※家計支持者（原則として父母。ただし、父母がいない場合は代わって家計を支えている人）の令和6年分の〔所得・課税（非課税）証明書（写し可）〕
※その他、必要に応じて追加書類の提出を求める場合があります。
※参考：JASSOウェブサイト（在学採用の奨学金の基準）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/index.html

②成績要件

- ・2024（令和6）年度に履修した授業の成績について、成績評価係数が2.30以上（3.00満点）である者
※英語圏へ留学する学生は、2024（令和6）年度に履修した英語の授業の成績についても成績評価係数が2.30以上（3.00満点）である必要があります。
※下記の計算式に当てはめて算出します（※宇大の成績表にある「通算GPA」とは算出方法も対象期間も異なります）。

	成績評価				
5段階評価	秀	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

< 計算式 >

$$\frac{(\text{評価ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント1の単位数} \times 1) + (\text{評価ポイント0の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

- ・JASSO奨学金学内選考応募者分は、留学生・国際交流室にて成績評価係数を確認いたします。

③その他要件

- ・日本国籍を有することまたは日本への永住が許可されていること
※本プログラムの応募を希望する方で日本国籍以外の方は、事前に留学生・国際交流室へご相談ください。
- ・留学に必要な「査証」を確実に取得すること
- ・外務省危険情報「レベル2」以上に該当しない地域への留学であること

▶応募方法

- ・交換留学学内選考通過者へ、留学生・国際交流室よりメールにてお知らせいたします。

▶受給者の決定

受給決定の通知は6月以降を予定しています。
※全員が受給できる奨学金ではありませんので、この奨学金に頼らず留学計画を立てるようにしてください。

▶その他注意事項

- ・本制度受給者は、毎月の在籍確認・報告書の提出等、様々な義務が発生します。予めご承知おきください。
- ・本制度以外の留学用奨学金等を受ける場合、当該奨学金の支給月額が本制度による奨学金月額を超えない場合に限り併給可能です。
※本制度以外の留学用奨学金等へ応募する際は、必ず留学生・国際交流室へご報告ください。
※他の奨学金等を受ける際、奨学金支給団体側が本制度の奨学金との併給を認めない場合があります。

- ・留学生・国際交流室を通して申し込むその他の留学用奨学金との併願・併給可否は以下の通りです。
- ・大学コンソーシアムとちぎ：併願可・条件により併給可

- ・日本学生支援機構が実施する国内の「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能です。
- ・日本学生支援機構が実施する国内の奨学金（給付型）との併給は認められません。留学前に給付奨学金の休止手続きが必要です。
※手続きの詳細は、JASSO奨学金学内選考通過者へ担当者よりお知らせします。

令和7（2025）年度 JASSO海外留学支援制度（協定派遣） 交換留学派遣生対象 採択プログラム 対象国一覧

注）奨学金受給希望者の留学目的・行き先等の情報を参考に、留学生・国際交流室にて応募プログラムを振り分けます。

全体のバランスを見て、なるべく多くの方が受給できるよう調整いたしますので、予めご了承ください。

		JASSOプログラム名（受給可能人数） ○：対象国・地域							
国・地域名	奨学金（月額）	1.クールジャパン（7）	2.ジェンダー（7）	3.トランスローカル（5）	4.熱帯課題（5）	5.多文化公共圏（5）	6.地域創生リーダー育成（7）	7.日系社会（7）	8.多文化共生社会（15）
韓国	9万円	○	○						
台湾	8万円	○	○						
中国	8万円	○	○						
香港	9万円	○	○						
インドネシア	9万円				○				
カンボジア	9万円			○	○			○	
スリランカ	8万円				○				
タイ	9万円			○	○			○	
ベトナム	9万円			○	○			○	
マレーシア	9万円			○					
イギリス	11万円						○		○
チェコ	9万円					○			○
ドイツ	11万円					○			○
フランス	11万円						○		○
アメリカ	11万円						○	○	○
カナダ	11万円						○	○	○
ペルー	8万円							○	
ガーナ	8万円				○				

令和7（2025）年度 JASSO海外留学支援制度（協定派遣）交換留学派遣生対象 採択プログラム 詳細

No.	プログラム名	対象国・地域	割当	奨学金受給者に求められること※2025年4月1日時点の情報です。今後、変更となる可能性がございます。
1	東アジアで日本の帝國的遺産とクールジャパンを学ぶ	韓国・台湾・中国・香港	7人	・アカデミックな外国語運用能力・国際コミュニケーション能力を習得する。 ・近代日本の帝國的遺産が留学先国・地域でどのように扱われてきたのかを学ぶ。 ・併せて、留学先国・地域における現在の我が国の文化資産「クールジャパン」の受容のあり方を学ぶ。 ⇒東アジア各国・地域（横軸）と、歴史問題と現状の連続・断絶の考察（縦軸）の2つの視点からの比較・分析を行う。 ⇒ひいては、留学先国・地域と我が国との間の相互理解や交流促進に貢献できるようになる。
2	東アジアから学ぶジェンダー平等教育推進プログラム	韓国・台湾・中国・香港	7人	・留学前に宇都宮大学にてジェンダー関連科目を受講する。 ・協定校のジェンダー関連授業・学外の各種イベント等に参加するなどして、現地の人々と積極的に意見交換を行う。 ・帰国後、留学報告会等で、留学先で学んだことの報告及び日本のジェンダー教育の実情への対応提示を行う。 *プログラム担当教員による事前指導を行うことがあります。
3	トランスローカルな学びとグローバルキャンパス構築を通じた未来開拓人材育成	カンボジア・タイ・ベトナム・マレーシア	5人	・日本の文化を掘り下げながら（ローカル）、留学先国の人々に伝えて繋がりを生み出す（トランス）。※学生主体の日本ウィークの開催など ・自ら課題を設定し、解決に向けた過程の記録とその結果の発表を行う。※留学先の学生、教員との協働 ・留学先大学の友人、地域住民、宇大からの次年度留学予定者等を繋ぐオンラインコミュニティを作る。 ⇒最終的にはプログラム参加者全員が留学先からオンラインで1つの課題に取り組む共修グローバルキャンパスの構築を目指す。 *プログラム担当教員による事前指導を行うことがあります。
4	熱帯地域の課題と可能性：フィールドから学ぶ地球的課題対応人材育成プログラム	インドネシア・ガーナ・カンボジア・スリランカ・タイ・ベトナム	5人	・語学能力向上、異文化コミュニケーションを促進する。 ・熱帯地域特有の地球的課題を多面的に捉える能力を習得する。 ⇒専門科目の履修と学外フィールドワークを通して、課題を明らかにし、課題解決に向けた計画を立案、自律的に取り組む。
5	多文化公共圏の形成に向けた日欧共修プログラム ートリア大学・エアランゲン大学（ドイツ）及びパラツキー大学（チェコ）における多言語・多文化教育の実践ー	チェコ・ドイツ	5人	・多様な言語、文化に触れる経験を積むと同時に、海外で日本語や日本文化を伝える能力を涵養する。具体的には以下の通り。 ・英語TOEIC650点以上（IPテスト不可）/TOEFL iBT 70以上/IELTS 5.0以上を目指すとともに、ドイツ語及びチェコ語に関わる社会・文化現象に関する理解を深める。 ・日本語・日本学専攻の現地学生との交流（タンデム、TA、その他イベント等）を通して、日本語、日本文化を新たな視点から学び、学んだ内容について発表、ディスカッションする能力を身につける。 ※派遣前後に、日・英言語で履修可能な「グローバル人材育成プログラム」科目（全学共通科目）を受講すること。
6	栃木と世界を繋ぐ ～国際的教養を備えた地域創生リーダー育成プログラム～	アメリカ・イギリス・カナダ・フランス	7人	・留学前に外国語検定試験を受験することを推奨。帰国後も語学学習を継続する。 ・語学力及び及び多様なバックグラウンドを持つ学生とコミュニケーションする技術を習得する。 ・学内外で日本及び栃木県の文化・暮らし等を紹介することを通じて、栃木と世界を繋ぐための発信力を身につける。 ⇒帰国後は、日本国外で生活し学ぶ不自由さの経験をもとに、1)国内地域の中での窓口としてリーダーシップを発揮し、2)地域における異文化ネットワークを構築し、3)外国人と協働して社会を構築していくように実践的に行動することで、地域社会に多国籍の人々の居場所を形成する力となる。併せて、外国人を地域社会に積極的に受け入れていくために、4)外国人を呼び込み、5)地域の魅力をよそ者の視点で発見・発信できるようになる。
7	日系社会との相互交流を通じたグローバル人材育成プログラム	アメリカ・カナダ・カンボジア・タイ・ベトナム・ペルー	7人	・英語・スペイン語については中上級の語学力習得を目指す。その他の言語については、可能な限り留学開始前に基礎を学び、帰国後には当該国出身の留学生の日常的なサポートができる程度の語学力を身につける。 ・留学先国の文化・社会を理解するとともに、現地の日系社会と交流し（フィールドワークや無給インターンシップ等を含む）、理解を深める。 ・海外における日系社会の多様な歴史と現地への適応過程を知る。 ・現地において、日本語教育の援助や日本文化を紹介するプレゼンなどを実施する。 ・自分自身がー外国人としてどのように現地社会とつながっていくかを考え、実践することを通して、日本、地域社会、国際社会に広く目を向け、ともに発展していくために活躍できるようになる。 *プログラム担当教員による事前指導を行うことがあります。
8	欧米圏の教訓と課題から学ぶ、多文化共生社会を担う人材育成プログラム	イギリス・チェコ・ドイツ・フランス・アメリカ・カナダ	15人	・歴史的に多くの移民を受け入れてきた欧米圏のヨーロッパ地域と北米地域の協定校を基盤とし、学生が言語や専門科目を学びながら、多文化共生の課題に関するフィールドワークを進める。 ・参加学生が語学力を向上させ、異文化コミュニケーションを促進し、欧米圏の多文化共生に関する教訓と課題を多面的に捉える能力を培い、将来的に国内外の地域で貢献できる人材を育成することを目的とする。 ・本プログラムの対象者は、宇都宮大学の6学部と地域創生科学研究科の学生で、協定校の授業を履修しながら、欧米圏特有の多文化共生の課題（国際関係、国際協力、公共政策、移民政策、貧困、文化や宗教など）を研究テーマとして設定し、異文化間フィールドワークを進める。 ・語学力を培い、異なる背景の人々とコミュニケーションをとりながら、地域の課題や可能性について自分の視点で考える能力を養う。 *プログラム担当教員による事前指導を行うことがあります。